

## 出資法人等評価・カルテシート

## 1 出資法人等の概要

団体名	公益財団法人豊中市スポーツ振興事業団		
所在地	豊中市服部西町 5-1-1	所管部局・課	教育委員会 スポーツ振興課
設立年月日	昭和 62 年 6 月 4 日	代表者	理事長 桑村 三十三
基本金・資本金	基本財産 100,000,000 円	うち市出資額 (率)	100,000,000 円 (100%)
設立目的	豊中市及び豊中市教育委員会との緊密な連携のもとに、体育施設の効果的・効率的な活用を促進するとともに、各種市民団体との協働を基本とした生涯スポーツを推進することにより、市民が広くスポーツに親しみ、豊かな人間性の涵養と健康で活力に満ちた明るい市民生活の実現に資することを目的とする。		

## 2 役員・職員関係

各年 4 月 1 日現在

		H22		H23		H24				
		市派遣	市OB	市派遣	市OB	市派遣	市OB			
役員	常勤	2	0	1	2	0	1	2	0	1
	非常勤	5	1	0	5	1	0	5	1	0
職員	常勤	20	3	0	17	0	0	16	0	0
	非常勤	163	0	1	130	0	0	147	0	1
役員		0		職員		5,767				
役員の平均年間報酬 (H23 年度、千円) ※常勤のみ		0		職員の平均年間給与 (H23 年度、千円) ※常勤のみ		5,767				

## 3 財務関係

		金額 (千円)		
		H21	H22	H23
損益計算書	総収入	718,324	709,795	705,724
	(うち市受入金)	599,825	589,802	572,591
	総費用	755,835	727,199	679,932
	経常損益	▲37,511	▲17,404	26,892
	当期損益	▲37,511	▲17,404	26,892

		金額 (千円)		
		H21	H22	H23
貸借対照表	資産の部合計	226,609	187,420	245,927
	負債の部合計	97,436	75,650	107,265
	(うち有利子負債)			
	純資産	129,173	111,770	138,662
	利益剰余金	129,173	111,770	138,662

4 市の財政的関与の状況

(単位：千円)

		H21	H22	H23	主な内容、算出根拠等
フロー	補助金				
	事業費				
	運営費				
	委託料	198	216	441	健康支援室運動教室指導者派遣 等
	指定管理委託料	584,400	581,184	567,000	
	その他	15,227	8,402	5,150	負担金
計		599,825	589,802	572,591	
ストック	貸付金残高				
	債務保証残高				
	損失補償残高				
	出資金	100,000	100,000	100,000	昭和62年度出資
	その他				
計		699,825	689,802	672,591	

5 経営の状況

(1) 出資法人等の主な事業

事業名	事業内容	活動指標	H21	H22	H23
スポーツ教室	幼児から高齢者まで多くの市民が身近にスポーツで出会い、生涯にわたってスポーツを親しむ機会となるよう各種スポーツ教室の実施。	教室受講者数	136,724	127,124	130,541
水泳教室		教室受講者数	86,793	89,968	69,892
自主事業（短期事業）	市民が参加しやすい環境づくりと、地域や施設の特徴を生かした教室の実施。	教室受講者数	6,823	15,667	20,437
受託事業（豊中市・豊中市教育委員会）	幼児教育課・健康支援室への指導者を派遣し、運動教室を実施	実施回数	21	27	56
受託事業（障がい者団体）	支援が必要な子どものために指導者を派遣し、水泳教室を実施。	実施回数	—	—	4
地域との連携事業	地域総合型スポーツクラブへ指導者を派遣し、健康体操教室を実施。	実施回数	—	—	3
緊急雇用創出基金事業（豊中市受託事業）	就労困難者を職場での実践経験や研修を実施することによって就労につなげる。	雇用人数	—	—	13
地域交流事業（二ノ切温水プール）	地域との交流イベントとして小中学生を対象に水中運動会・餅つき大会を実施。	申込者数（水中運動会）	233	217	237
		（もちつき大会）	62	36	60

## (2) 財務指標

指標	視点	内容	H21	H22	H23
市受入金比率 (%) 市受入金/経常収益×100	自立性	市への財政的依存度を表わします。一般的に数値が低いほど、財政的に自立性が高いといえます。	83.5%	83.1%	80.3%
人件費比率 (%) 人件費/経常費用×100	効率性	数値が低いほど財務の弾力性が高いといえます。総支出における相談業務等のマンパワーが業務の中心となる団体については高くなる傾向にあります。	26.8%	27.3%	28.4%
管理費比率 (%) 管理費/経常費用×100	効率性	コスト体質を表すもので、一般的に数値が低いほど効率が良いとされます。	2.1%	1.1%	1.3%
正味財産比率 (%) 正味財産合計/(負債+正味財産合計)×100	安全性	負債及び正味財産合計に対する正味財産合計の割合。自己資本の比率が高いほど資本構成が良く、経営の安全性が高いといえます。	57.0%	59.6%	56.4%
固定比率 (%) 固定資産/正味財産合計×100	安全性	正味財産合計に対する固定資産の割合。固定資産を返済不要な正味財産合計でまかなわれているかを表わします。100%未満であれば安全性が高いといえます。長期的な経営の安全性を示しています。	138.2%	132.9%	121.3%
流動比率 (%) 流動資産/流動負債×100	安全性	1年以内に返済を要する負債に対する1年以内に資金化できる資産の割合。数値が高いほど支払い能力が高いといえます。100%を下回る場合は注意が必要です。	56.2%	61.0%	115.7%

## (3) その他

### ア 給与体系

区分	<input type="checkbox"/> 独自体系 <input checked="" type="checkbox"/> 市の体系を準用 <input type="checkbox"/> その他 ( )
見直し予定	<input checked="" type="checkbox"/> 予定あり ( 25年度予定) <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 済み ( 年 月)

### イ 情報公開

公開ツール	<input checked="" type="checkbox"/> ホームページ (URL : <a href="http://www.geocities.jp/toyojigyo/">http://www.geocities.jp/toyojigyo/</a> ) <input type="checkbox"/> 広報紙 <input type="checkbox"/> 事務所備え付け <input type="checkbox"/> その他 ( )
公開内容	<input checked="" type="checkbox"/> 定款 <input checked="" type="checkbox"/> 役員名簿 <input checked="" type="checkbox"/> 事業計画 <input checked="" type="checkbox"/> 事業報告 <input type="checkbox"/> 経営計画 <input checked="" type="checkbox"/> 財務諸表

### ウ 指定管理者の状況

施設名	指定管理期間	備考
・体育館4館、武道館ひびき、高川 スポーツルーム	平成23年4月から平成28年3月	共同事業体として受託
・温水プール2館	平成23年4月から平成28年3月	

## 6 経営上の課題

- ① 自主財源比率の拡大⇒受託事業+自主事業等の大幅拡大  
[現状：指定管理委託料8割・受託事業+自主事業等2割]
- ② 財団事業の展開⇒自主事業・受託事業の拡大、研究研修事業の実施
- ③ 人事・給与制度の改革⇒事業展開に即した就業形態の見直し、近傍同種を取り入れた制度改革  
[現状：市に準じた制度]
- ④ 業務マニュアルの見直し⇒業務の平準化、知的財産化(財団ノウハウの明確化)、評価基準化
- ⑤ 行政との関係整理⇒事業の実施範囲、体育団体との関係 等

## 7 経営改革の取り組み（平成24年度）

項目	取り組み内容	今後の課題・方向性
運営方針の明確化	年度当初に理事長から今年度の運営方針を示し、方針に基づき持続可能な財団運営を進める。	
年度目標の設定	各施設・各課・各プロジェクトチームで年間のスケジュールと目標設定をし、進行管理を進めるとともに、職員間の目標・意識統一を目的とする。	評価制度を確立するため、業務評価の基準となるべきものにする。
プロジェクトチームの設置	諸課題において、プロジェクトチームを設置し、横断的組織による検討を進めている。	
受託事業の拡大	持続可能な財団運営を進めるために、豊中市と協働した受託事業の拡大を進め、財団がスポーツ専門職としての役割を果たす。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育専門教師がいない小学校への体育授業の実施。</li> <li>・幼児期からの運動指導の提供（保育園・幼稚園）</li> </ul>

## 8 出資法人等の自己評価

評価の視点	評価	今後の取り組み方針
<p>必要性</p> <p>・実施事業は、社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか</p>	<p>財団の自主事業・受託事業・メセナ事業においては、社会状況・市民ニーズに適合し実施できている。</p> <p>指定管理者として行っている指定事業については、財団が評価すべきではない。</p>	<p>財団の本来目的である「豊中市・豊中市教育委員会と共に豊中市のスポーツ振興を進めていく」ために、自主事業の拡大・豊中市と協働した受託事業の拡大・地域連携を取り入れたメセナ事業の展開を進める。</p>
<p>効率性</p> <p>・人的・物的な経営資源は有効に活用しているか</p> <p>・組織体制、人事給与水準は適正か</p>	<p>現状の事業実施については、人的・物的経営資源は有効に活用している。</p> <p>しかし、財団本来目的を進めていくには、財団体制、人事・給与・研修制度の再構築が必要である。</p>	<p>財団の本来目的を進めていくために、事業の展開と共に、組織体制の見直し、人事給与制度の改革を進める。</p>
<p>有効性</p> <p>・意図する成果に有効に結びついているか</p>	<p>現状の財団自主事業・受託事業・メセナ事業については、意図する成果に結びついている。</p> <p>指定管理者として行っている指定事業については、財団が評価すべきではない。</p>	<p>受託事業については、幼児～小学生の子どもの運動能力の向上を進めるため、学校・保育所・幼稚園と連携を図っていく。またメセナ事業では地域との連携を密にし、地域の活性化を進める。</p>
<p>総合評価</p>	<p>現状の財団自主事業・受託事業・メセナ事業については市民のニーズに合った事業内容であり、効率的・有効的に実施できたと評価する。ただし、財団設立の本来目的を進めていくためには、新たな事業の展開・制度の見直し等、財団の役割を果たせるよう進めて行く必要がある。</p>	<p>持続可能な財団運営が実施できるよう、指定管理事業中心から、スポーツ専門集団として、自主事業・受託事業・メセナ事業（社会貢献事業）の拡大、研修、研究事業の新規展開を進め、豊中市と共に、豊中市民のスポーツの振興を進めていく。</p>

## 9 市による評価

評価の視点	評価内容	課題・方向性
<b>団体の存在意義 (必要性)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出資目的は薄れていないか</li> <li>・ 市の施策の方向性に適合しているか</li> </ul>	<p>当事業団は、子どもから高齢者まで身近なところで、各々のライフステージに応じたスポーツ活動を継続して実践できるよう、スポーツの推進を行ってきました。平成23年8月施行の「スポーツ基本法」ではスポーツを権利として、広く推進していくことが明記され、スポーツ振興を図るという出資目的の重要性は高まっています。</p>	<p>社会情勢や市民の意識が変化するなか、生涯スポーツの推進に向けた教室の拡大など事業内容や運営を時代に即して見直していく必要があります。</p>
<b>団体の活動領域 (効率性・有効性)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出資法人等を活用するメリットはあるか</li> <li>・ 出資法人等にしかできないことか</li> </ul>	<p>指定管理者制度が導入され、指定管理者として、施設の管理運営を担い、効率的な運営に努め、市に貢献しています。</p> <p>地域や施設の特徴を生かしたスポーツ教室を開催し、本市のスポーツの推進に貢献しています。</p>	<p>出資法人として、スポーツの推進という業務目的に合った自主事業の拡大など、積極的な事業展開や発想をさらに進めることが望まれます。</p>
<b>団体と市との関係性 (効率性・有効性)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の成果が市の施策の推進にどれだけ貢献しているか</li> <li>・ 市の関与は適切か</li> </ul>	<p>「だれもが生涯にわたって、一人ひとりの関心や目的に応じた運動やスポーツに親しむことを通して、健康で活気に満ち、人とのふれあいにあふれた豊かな暮らしを実現しています。」という総合計画のめざすべき姿の実現にむけ、生涯スポーツ推進のための講座や教室などの事業を行うとともに効率的な運営に努め、市に貢献しています。</p>	<p>生涯スポーツ振興のための調査、研究、啓発などや各種市民団体との協働をすすめることがより必要と考えます。また、現在策定中の「(仮称)豊中市スポーツ推進ビジョン」において市、団体、民間事業者などの多様な公共サービスの担い手の最適な役割分担を再構築する必要があります。</p>
<b>総合評価</b>	<p>当事業団は、子どもから高齢者まで身近なところで、各々のライフステージに応じたスポーツ活動を継続して実践できるよう、スポーツの推進を行うとともに効率的な事業運営に努め、出資目的にあったスポーツの推進に貢献する事業を行っています。</p>	<p>出資目的の重要性はますます高まり、生涯スポーツ振興のために、教育や生涯学習関係、保健・医療・福祉、まちづくり分野等の主体との連携が不可欠で、市の様々な部局や各種市民団体と協働をした自主事業などの展開をさらに進める必要があります。</p>